



社会医療法人 創和会

幸町記念しげいクリニック

透析医療に向き合い続けた半世紀

1975

幸町診療所の創立 ～岡山での透析医療の広がり～

初代院長の國米先生は、人工臓器と移植外科を専門とし、岡山大学第一外科にて移植免疫の研究に従事。1969年2月、重井病院の重井博理事長より岡山大学へのキール型人工腎臓の無償提供を受け、臨床応用の最前線に立ちます。その後、現在日本の病院で採用されているホロー・ファイバー型人工腎臓の改良に尽力し、日本人の体格に合った市販の基本型を完成させました。さらに1974年には岡山大学病院における最初の腎移植手術の主治医として成功を収めました。

1975年5月1日、岡山市の一角に、初代院長 故 國米欣明先生により「幸町診療所」が創立されました。当時、透析ベッドは約50床。週3回透析が主流となる頃でした。



▲ 当時の透析室の様子



▲ 1975年 幸町診療所

1987

幸町診療所から幸町病院への転換

1987年3月1日、幸町診療所創立から12年。透析患者さんの医療的・社会的ニーズが次第に大きくなってきました。こうした状況を受け、幸町診療所は検査・手術部門の設備強化とスタッフの充実を図り「幸町病院」へと組織変更し、より高度な医療を提供できる体制を整えました。急を要する透析、重篤な合併症、夜間・休日を問わず求められる医療体制を整え「幸町病院」は腎不全治療の専門病院として、その使命を胸に新たな一歩を踏み出しました。

1993

2代目院長 故 宮崎雅史先生就任 「幸町記念病院」へ

1993年5月1日、バトンは次代へ。宮崎先生が幸町病院を継承し、2代目院長に就任。病院名は「幸町記念病院」へと改められました。宮崎先生は1986年に幸町病院の副院長として着任。國米先生のもとで透析を一から学び、当時の研究（膜型血漿交換）にも透析技術を応用しながら、日々研鑽を積みました。その後、一度幸町病院を退職し、1988年済生会西条病院（愛媛県）へ。外科部長・透析室長を歴任。1993年に岡山へ戻り、幸町記念病院の指揮を執ることとなったのです。



2004

現在地へ新築移転に伴い 「腎不全センター幸町記念病院」へ改称

“FACE TO FACE HOSPITAL ～患者さんに近い看護を目指して～”

上記のコンセプトをもとに 2004年11月1日、新たな地で、透析医療のさらなる発展を目指す歩みを始めました。患者さんにとって「第2の家庭」となれるよう、アットホームな内装や照明を取り入れ快適な環境づくりを目指しました。



移転当時に宮崎先生が綴った“せせらぎ庭園”への想い ～開院当時の宮崎先生の言葉より～

「屋外歩行は元気の源で、病院移転を機に地下水を透析に使えないかと井戸を掘ったのですが、水質が今ひとつで断念せざるを得ませんでした。これをうまく利用し、リハビリテーションにも使えるよう、小川に沿った遊歩道のある細長い庭を作りました。和の通学路や湧水の思い出を重ねたこの庭で患者さんや職員、地域の皆さんに四季の変化を楽しんでいただければ幸いです。」



公共の場にふさわしい、 病院を彩るアートを

大元駅前という公共性の高い場所への建築にあたり、地域に親しまれ、開かれた病院となることを目指し、街の風景に溶け込む彫刻の設置が計画されました。

【風の意志】（寺田武弘 作）

万成石の舞台に風が吹き抜けた痕跡を刻む作品。

【陽光賛歌】（眞板雅文 作）

鉄の錆色と万成石が溶け合い、四季折々の表情を見せます。

【大きな木】（松田重仁 作）

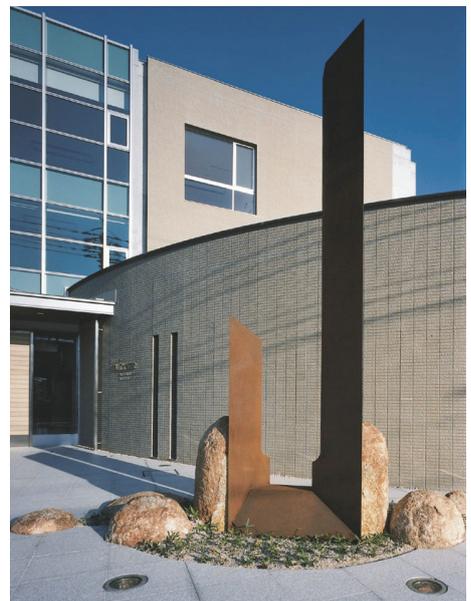
患者さんや職員、病院関係者の皆さんが木のブロックに思い思いの絵を描いた参加型アート。木のブロックに描かれた一人ひとりの夢。その夢が集まることで、人々の和が生まれ、それが地域に広がり大きな夢の木として育つことを願って制作されました。



風の意志



大きな木



陽光賛歌

透析医療に向き合い続けた半世紀

2007

三つの“祥”に託した想い～医療法人 三祥会の設立に寄せて～

2007年4月1日、病院の経営と存続をより安定的なものとするため、個人病院から医療法人として組織を改編しました。幸町記念病院の理念は「慢性腎不全を通じて、患者・家族ならびに職員の幸福の増進に永続的に貢献する」。患者さんとそのご家族、そして職員という三者の幸せを願う、という気持ちをこめて三祥会としました。

2022

医療法人 創和会と医療法人 三祥会がグループ化へ

幸町記念病院は長年にわたりしげい病院および重井医学研究所附属病院と深い交流を重ねてまいりました。深いご縁を未来へつなぐべく、2022年12月、医療法人 創和会とのグループ化を進め、病院の運営権を継承。新体制の第一歩として、重井文博先生が医療法人 三祥会の理事に就任されました。



2024

田中信一郎先生、3代目院長に就任

2023年8月3日、2代目院長・宮崎雅史先生の突然のご逝去。深い悲しみの中、宮崎先生の意志を受け継ぎ、2024年4月1日、田中信一郎先生が3代目院長に就任。田中先生は、岡山医療センターにて腎移植の第一人者として活躍後、徳島病院院長、福山大学教授として医療と教育に貢献されました。宮崎先生とは同門であり、新病院移転以降は田中先生が理事長を務める岡山県臓器バンクの事務局が病院内に設置されていた歴史もあり深い縁がありました。さらに過去には、重井医学研究所附属病院にて透析シャント手術の診療に携わっていた経験もあり、創和会とのつながりを重んじつつ、病院の未来を見据えて舵取りを担うこととなりました。



2025

つないできた想いととも、新たな未来へ

2025年10月1日、幸町記念病院は社会医療法人 創和会との正式合併を迎えました。そして12月1日、病棟を閉鎖し「幸町記念しげいクリニック」に名称を改め、外来専門クリニックとして新たな歩みを始めました。これは、過去から未来への橋渡しであり、受け継がれた信念の証。わたしたちはこれからも、腎不全医療の最前線に立ち続けながら、患者さんとそのご家族、職員、地域社会全ての幸せを願い、歩み続けます。